

週刊 かわら版

生徒と保護者のための



十五の春を支えで

入試(本校)を終える

受験シーズン真っただ中。本校でも先週、入試が行われた。受験生15の春を在校生もしっかりとサポートしてくれた。

本校へ入学を希望する中学生の入試が終わった。それぞれに緊張し、一生懸命、問題に取り組み姿に好感がもてた。そして高校生活に多くの夢と希望を抱いている中学生を心強く感じた。

恵まれた環境や入試補助員を務めた高校生の姿に接して、多くの中学生が、「本当にこの学校に来たくなった」と面接の中で答えてくれた。四月にはたくさん生徒が新入生として入学してきてくれ



先見コーナー

- 2/06(土)○ニュース検定
- 2/07(日)○2年修学旅行出発日
- 2/09(火)○クラスマッチ(9組~15組) ・1日遠足(2組~8組)
- 2/10(水)○2年修学旅行帰着日 ○第7回自専攻科入学学力検査
○クラスマッチ(2組~8組)・1日遠足(9組~15組)
- 2/11(木)○建国記念の日
- 2/12(金)○1年キャリア教育・進路説明会 ○2年休養日
- 2/13(土)○2年進研模試(マク)~14日
- 2/14(日)○JRC 総会・1日トレセン(赤十字)
- 2/16(火)○卒業判定会
- 2/17(水)○3年生出校日
- 2/20(土)○航空無線通信士
- 2/21(日)○英検2次(本校) ○全経簿記検定
- 2/25(木)○国公立大(前期)
- 2/26(金)○3年生出校日 ○課題研究発表会
- 2/28(日)○日商簿記検定
- 2/29(月)○同窓会入会式 ○賞状授与式
○卒業式予行"
- 3/01(火)○第55回卒業式

次のかわら版32号は3年生の出校日にあわせて2月17日(水)に発行を予定しています。

キャリア教育

と時を過ごした。いろいろな思いを抱きながら、入試を受け、入学をした。受験生の姿に自分を重ねた生徒も多いと思う。入学試験という大きなストレスを乗り越え、ひとつの節目を刻むことに意味がある。

竹の成長はとても早い。そして柔らかく折れやすさがあるので、なかなか折れるものではない。それは、節(ふし)がしっかりと刻まれているからである。

まもなく、卒業、進級、入学、就職とひとつの節目を刻もうとしている。その節目を大切にしたい。

(就職・進学)

一年生のキャリア教育と進路説明会について、案内があったと思いますが、重点事項の確認をお願いいたします。
【午前】キャリア教育(生徒のみ)
【午後】進路説明会
13時35分~
生徒は ロングホーム
保護者 MMHにて
進路説明会
マイナビ講話(50分)
14時45分~15時15分
学級の会
15時15分~
三者面談/進路相談



三者面談・進路相談を希望しない生徒は14時35分以降降下校。ただしスクールバスは16時45分発。
駐車場は創価学会様を利用させていただきます。産業道路側からの入場はご遠慮ください。駐車場までの送迎の最終時間は16時15分です。

編集後記

生徒会新聞1号が発行された。取材から編集、校正まで何度も原稿を修正している本部役員の姿があった。できるだけ自分たちのことばで、全校生徒に何かを投げかけたいという思いを感じた。月刊を目指すという。新聞作りの大変さと楽しさを知る者として、心から応援したい。

訂正とお詫び

かわら版30号の記事中に画龍点睛(がりゅうてんせい)とありましたが、画龍点睛(がりょうてんせい)の誤りです。訂正してお詫び申し上げます。

清流

ディズニースーツとスキー体験、二年生にとってはワクワクの週である。数日前には、日本全国が寒波に襲われ、鹿児島も数年振りの積雪を経験した。雪国で味わうそれ以上の雪景色はまた別世界である。そして、ディズニースーツの世界も文字通り、夢の世界である。スキーについては初めての生徒も多いと思う。「転ぶ」ことを真っ先に経験し、上手に「転ぶ」方法を学ぶ。柔道もまずは、「投げられる」ことを経験し、受け身を身に付ける。似たところがある。相田みつお氏も「人の前で失敗をしたり恥をさらす練習である。自分のカッコの悪さを多くの人の前でぶざまにさらけ出す練習、それが受身だ」と言っている。さらに、「長い人生にはカッコよく勝つことよりもぶざまに負けたり、だらしなく恥をさらすことのほうがはるかに多い。その代り転んでもすぐ起き上がる、負けてもすぐ立ち直る、それが受身の極意だ」と続けている。転ぶ事も経験、それを乗り越えることで安心が増え、やりたいことの幅や可能性が広がる。そうそう、移動中のバスの中で居眠りするなんて、もったいない。テレビの画面越しに見える映像でなく、自分の全ての知覚を働かせ、体験してほしい。